



# 梅雨空に 燃えろ向陽魂

今年の梅雨明けは遅く、まだ真夏の太陽は厚い雲に隠れていた7月中旬。3連休を中心に3年生にとって中学校最後の大会となる和歌山市中学校総合体育大会が各会場で開催されました。各クラブは、この日のために毎日朝練を続けるなど、今までの努力のすべてを懸けて大会に臨みました。



主な結果を紹介します。陸上競技では、林昇矢君・竹村誉仁君・松村泰知君・宮崎雅貴君の共通男子リレーチームが2位。2年100mで宮崎君が1位、松村君が2位、共通男子200mで竹村君が2位、1年800mで高木日夏里さんが1位となり県大会に駒を進めました。県大会では近畿・全国を目指します。また、ソフトテニス男子団体が市3位で惜しくも県大会を逃しましたが、個人では岩西航・田中亮



太組が3位、湊本拓海・長田尚樹組が5位入賞で県大会に出場します。水泳（競泳）では、中西礼君が200m背泳ぎで1位、田口佳歩さんが200m個人メドレーで1位となりました。

県大会への出場は叶いませんでしたが、他の競技でも熱戦が繰り広げられました。サッカー部は11人の単独チームとして開智中と対戦し、交代要員がない中、3-0で見事勝利を飾りました。



野球部（城東中との合同）は3年生1人でチームを支えてきた藤田翔基主将の投打にわたる活躍で西浜中に5-2で勝ちました。サッカー部、野球部ともに2回戦は敗れましたが、価値ある1勝です。他に、県大会まであと一つというところまで頑張ったソフトテニス女子個人や卓球男子個



人、最後は3年生7人全員が試合に出場したバスケットボール部など、どの競技でも最後まであきらめない向陽魂を見せてくれました。

日々懸命に部活に打ち込んだ時間はかけがえのないものです。結果はどうであれ、勝ったときの喜び、負けたときの悔しさを共に汗を流した仲間と味わえる一体感こそが部活動の一番の魅力でし



ょう。最後に悔しさを味わった人も、是非、高校でも続けてほしいものです。後輩は3年生の最後の姿を目に焼き付け、向陽魂を受け継いでいくことでしょう。夏休みのグラウンドや体育館には、新チームの元気な声が響いています。





# やったぜ向陽！県大会で快進撃

長かった梅雨も明け、真夏の太陽が容赦なく照りつける中、25・26日を中心に、和歌山県総合体育大会が各地で開催されました。各地方を勝ち抜いてきた精鋭が、近畿・全国を懸けて熱戦を繰り広げました。その中で向陽勢は、すばらしい集中力とチームワークを発揮して、次々と上位に進出しました。近畿大会へ、全国大会へ、夢の舞台はまだ続きます。

## 陸上 男子共通1位！全国へ

向陽中初の快挙です。林君・竹村君・松村君・



宮崎君の陸上男子共通リレーチームが大会新記録で優勝。8月22日から長居ヤンマースタジアムで行われる全国大会への切符を手にしました。これまでどうしても勝てなかった明和中との最終決戦。4人共にこれまでの最高の走り最高バトンパスで、ライバルを振り切りました。そして、2年100mでは宮崎君と松村君がワンツーフィニッシュで近畿大会へ。3年200mで竹村君も3位となり近畿大会に出場します。また、女子1年800mでは高木さんが5位と健闘しました。

## ソフトテニス部・水泳部(競泳) 近畿大会へ

ソフトテニス部も快

挙です。男子個人戦で湊本・長田組がベスト8に入り、近畿大会への出場を決めました。湯浅中、東海南中に勝ち、近畿決めの田辺中との大一番では4-2で勝利しました。準々決勝は西和中に惜しくも敗れましたが、持てる力をすべて出し切りました。水泳(競泳)では1年生が躍動しました。1年生の田口佳歩さんが100mバタフライ3位、永岡士君が400m個人メドレーで4位となり近畿大会に出場を決めました。



## バドミントン部女子団体3位！

バドミントン部も大健闘。女子団体、湯浅中との1回戦では、初戦のダブルスを落とし、同時進行のシング



ルスも1セット奪われる苦しい展開。しかし、ダブルスで東・徳井組が闘志を前面に出して勝ち、流れを引き寄せました。最後は、シングルスで粘りに粘っていた今井さんが見事逆転で勝ち、県団体初の1勝を挙げました。その勢いで那智中を破り初の準決勝進出。近畿大会を懸けた岩出二中戦では負けましたが、3位決定戦で由良中に勝ち、堂々の3位に輝き賞状を手にしました。

練習時間も場所も決して恵まれているとは言えない環境の中、日々勉強と両立しながら、県大会でもこんなに活躍できるようになった向陽中運動部。今年の快進撃に学校全体が沸き立ちました。